

# 再生骨材の品質改善と原コンクリートの水セメント比の違いが再生骨材コンクリートに与える影響



マテリアルデザイン研究室  
芝浦工業大学 亀山 敬宏

再生骨材

信頼性が低い

バージン骨材と価格が同等

再生骨材普及に向けて

CO<sub>2</sub>吸着による品質改善

原コンのW/Cの違い

再生骨材の種類(吸水率)

**再生骨材**

**骨材種類**

- ・碎石
- ・再生骨材M
- ・再生骨材M(CO<sub>2</sub>)
- ・再生骨材L
- ・再生骨材L(CO<sub>2</sub>)

品質改善

CO<sub>2</sub>吸着  
吸着しない

**破碎**

W/C  
30,50,70%

**骨材種類**

- ・再生骨材70%
- ・再生骨材50%
- ・再生骨材30%
- ・再生骨材30+70%  
(5:5、7:3、3:7)

**再生骨材**

**現状・本研究**

品質改善 → 吸水率低下  
(カテゴリーアップ)

Ex. 磨砕処理 H品の製造  
CO<sub>2</sub>吸着 M品→H品

吸水率が改善されても・・・  
再生骨材コンクリートの品質

改善

改善されない

or



吸水率以外の指標の必要性

再生骨材コンクリート作製

強度

圧縮強度試験  
割裂引張強度試験  
(バラツキ)

耐久性

長さ変化試験  
真空吸水試験  
中性化試験